



佐川町総合計画 アンケート集計

2020(令和2)年12月

佐川町チーム佐川推進課

調査対象

- ・ 佐川町の住民対象

調査方法

- ・ 郵送及びインターネット回答による。

回答総数

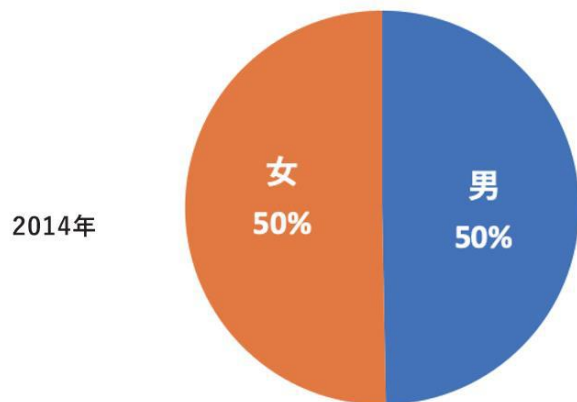
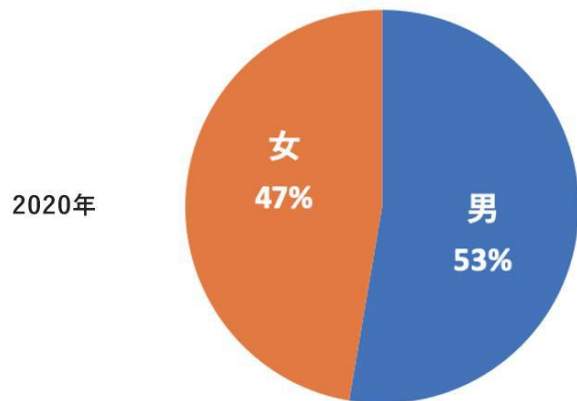
- ・ 333

※平成26年実施アンケート回答数 458

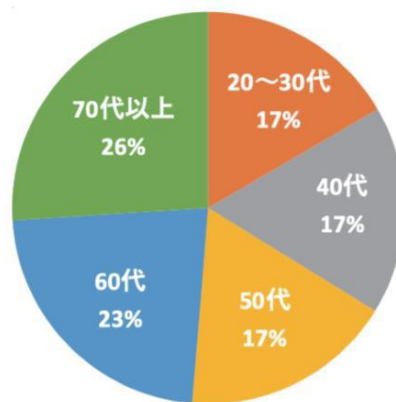
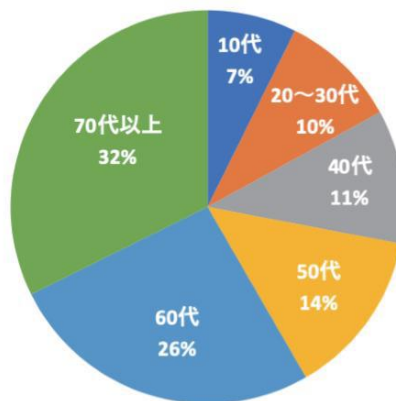
住民情報_1

▶ 問15、問16、問17

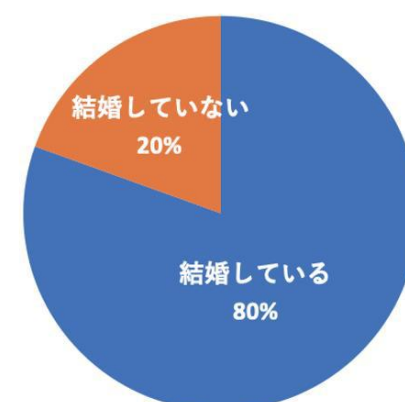
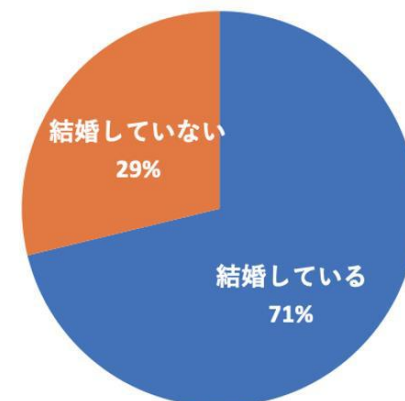
〈性別比〉



〈年代比〉



〈結婚有無〉



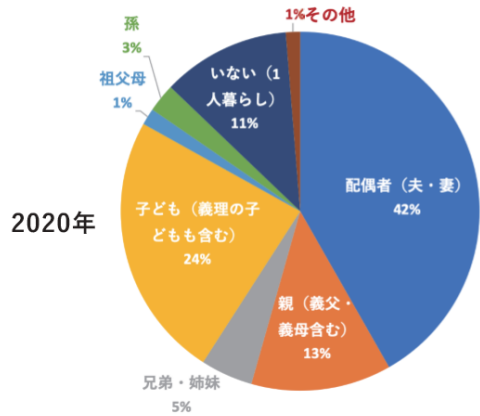
※前回と比較した場合、高齢者の割合が上昇。(50代以上)

※未婚者の率が上昇。

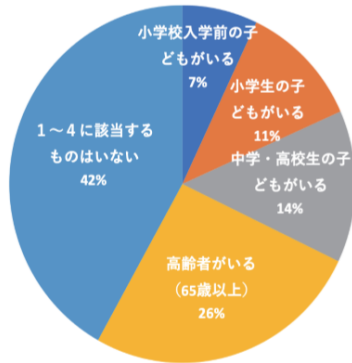
住民情報_2

▶問18、問19、問20、問21

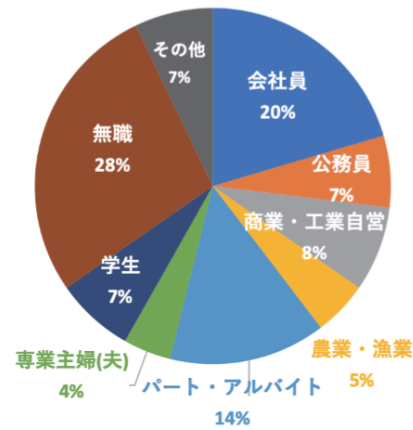
〈同居する家族_関係性別〉



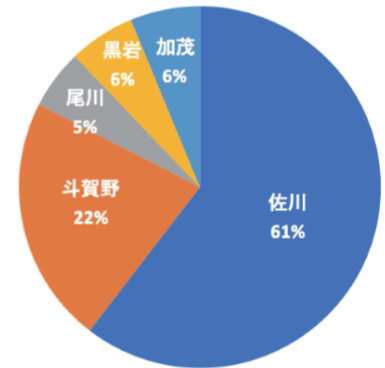
〈同居する家族_年代別〉



〈職業〉



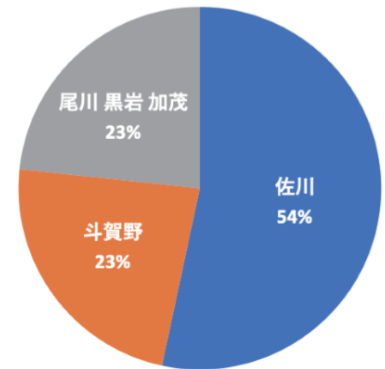
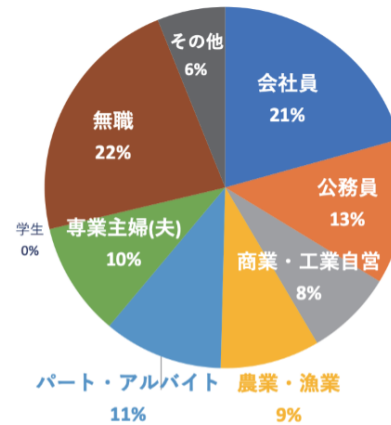
〈地域〉



2014年

〈データ無し〉

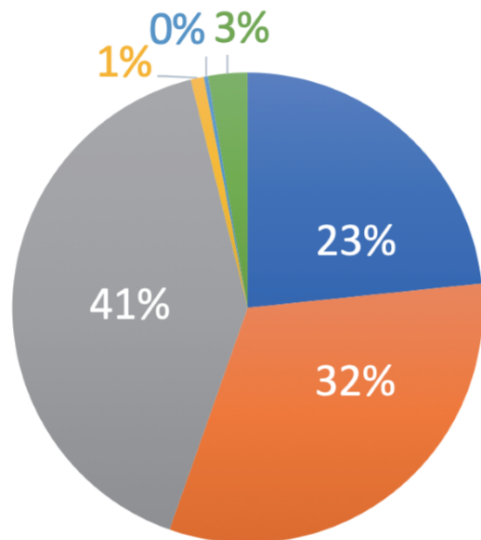
〈データ無し〉



住民情報_2

▶ 問1、問2

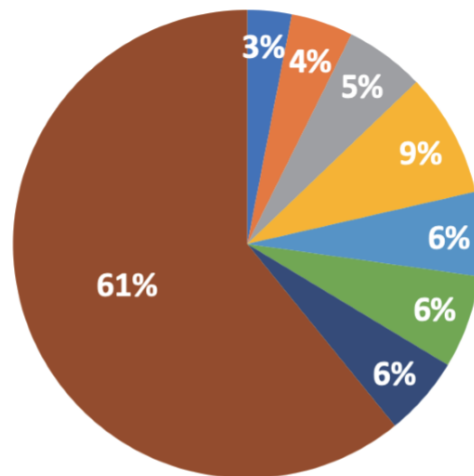
〈居住歴〉



- 生まれてからずっと佐川町に住んでいる
- 生まれは佐川町で以前町外に出たが、現在は佐川町に住んでいる
- 生まれは佐川町でないが現在は佐川町に住んでいる
- 生まれは佐川町だが、現在は町外に住んでいる
- 生まれは佐川町でなく現在も町外に住んでいる
- 未記入

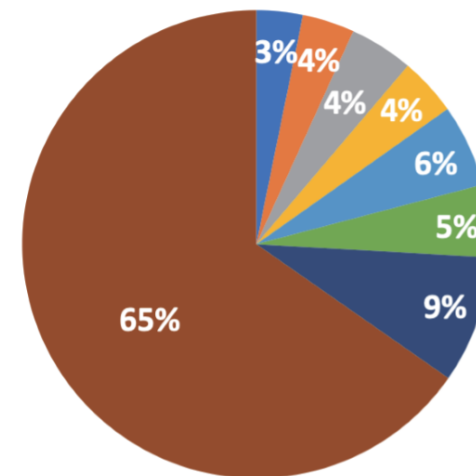
〈居住年数〉

2020年



- ～3年未満
- 3～5年未満
- 5～10年未満
- 10～15年未満
- 15～20年未満
- 20～25年未満

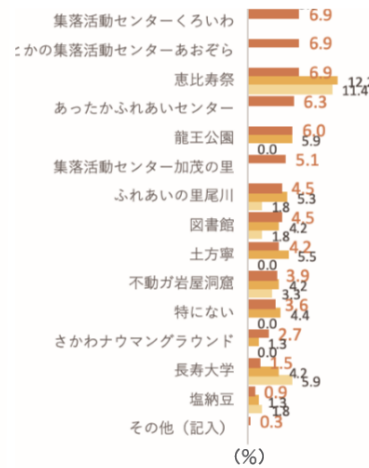
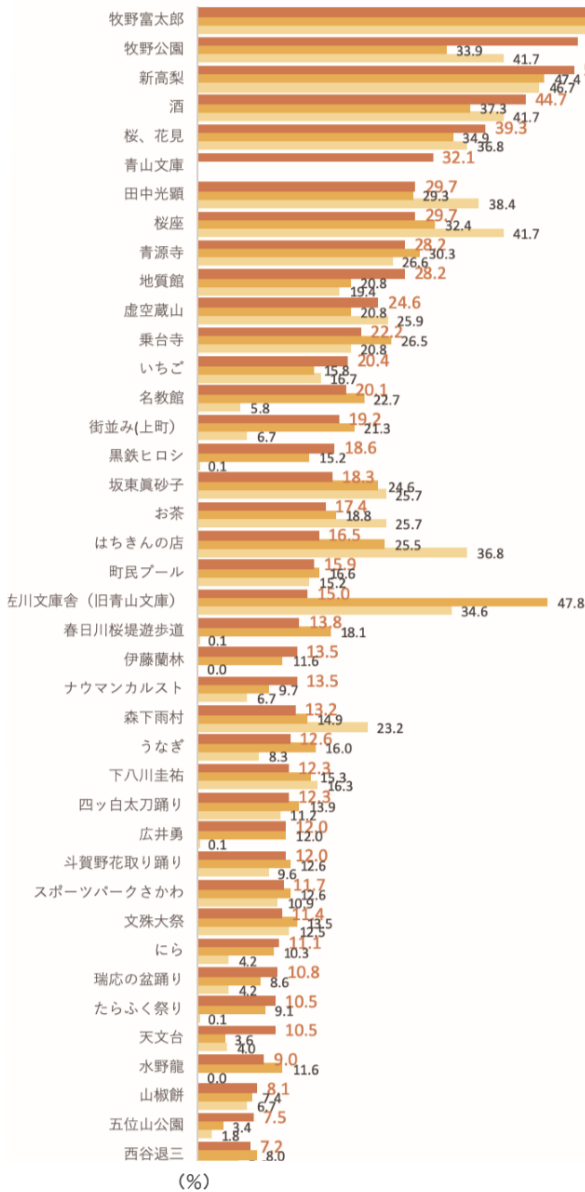
2014年



- 25～30年未満
- 30年以上

佐川町の自慢

▶問3



▼分析

・前回同様、「牧野富太郎」ポイントが高い。

⇒住民意識の高さ。

・「牧野公園」ポイントが18.ポイント大きく上昇。

⇒ボランティアグループを中心とした整備の効果。リニューアル事業の継続と広報、SNSを活用した情報発信の成果

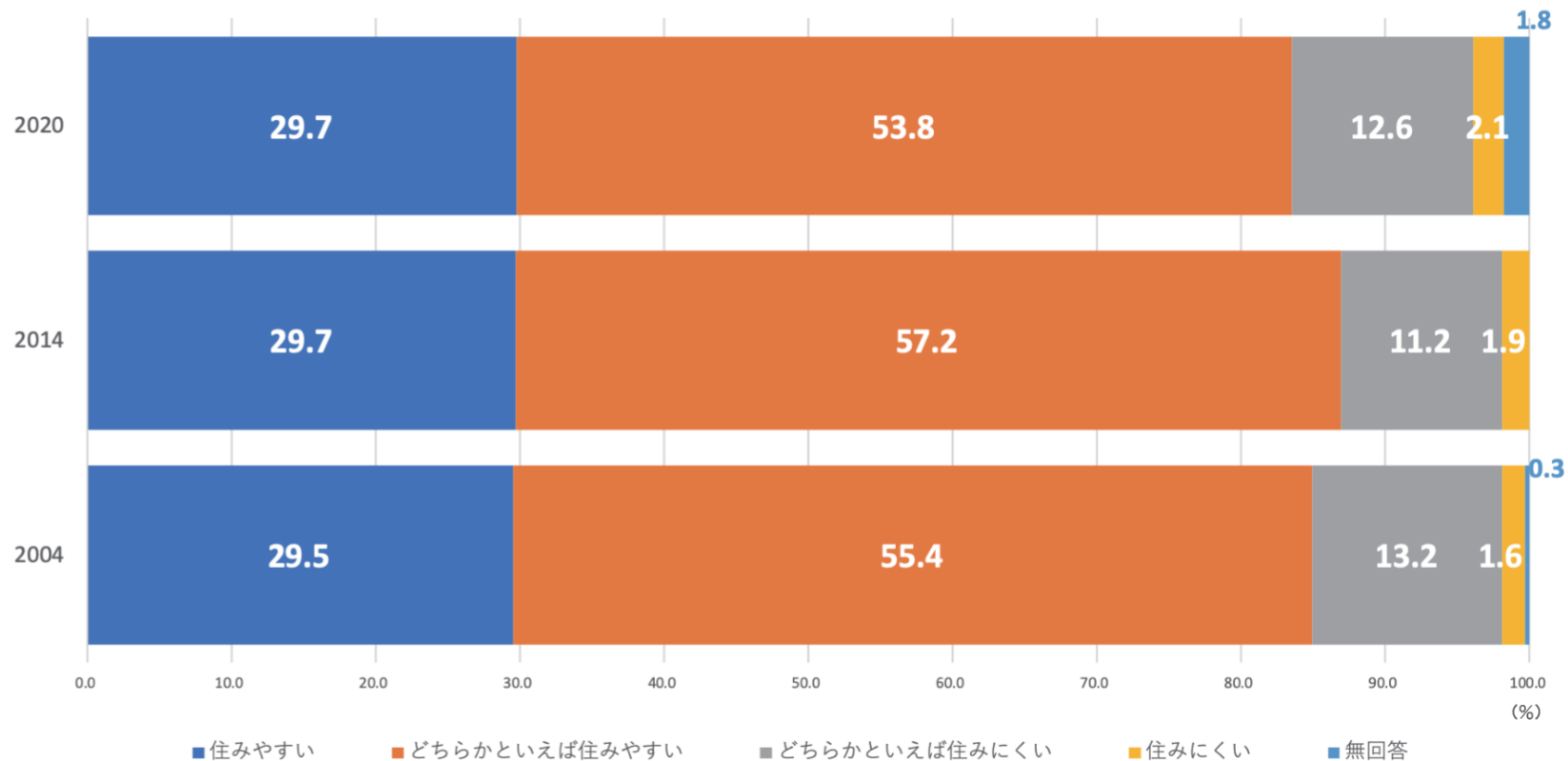
まちまるごと植物園の推進

・「天文台」ポイントが6.9ポイント上昇。

⇒星を観る会の活動が広がっている。

佐川町の住み心地

▶ 問4



▼分析

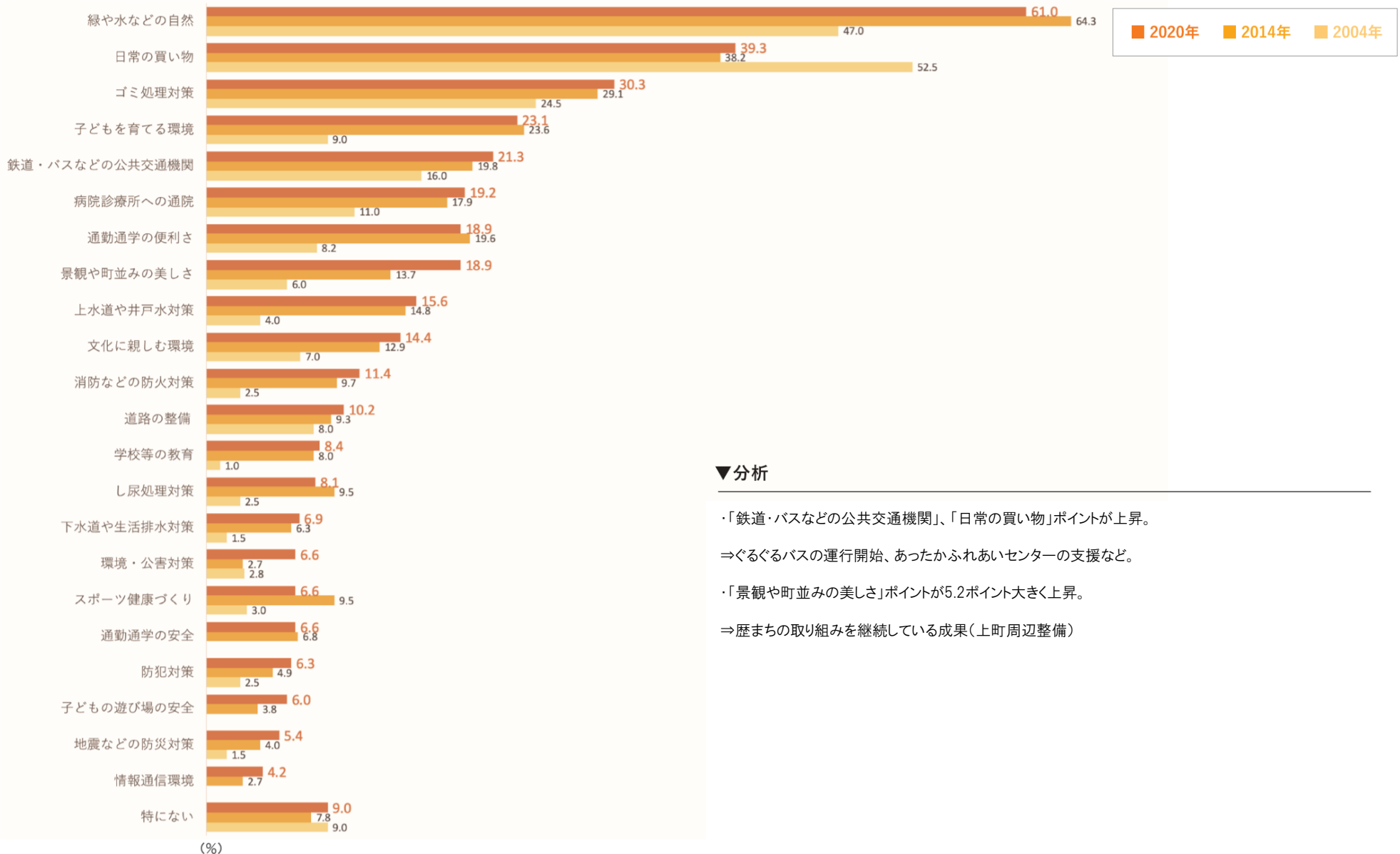
約83%が「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と答えている結果は、町への愛着心の表れと考えられる。

▼過去との比較

前々回、前回、今回と、大差ない回答結果であった。

生活環境で満足していること

▶ 問5



▼分析

・「鉄道・バスなどの公共交通機関」、「日常の買い物」ポイントが上昇。

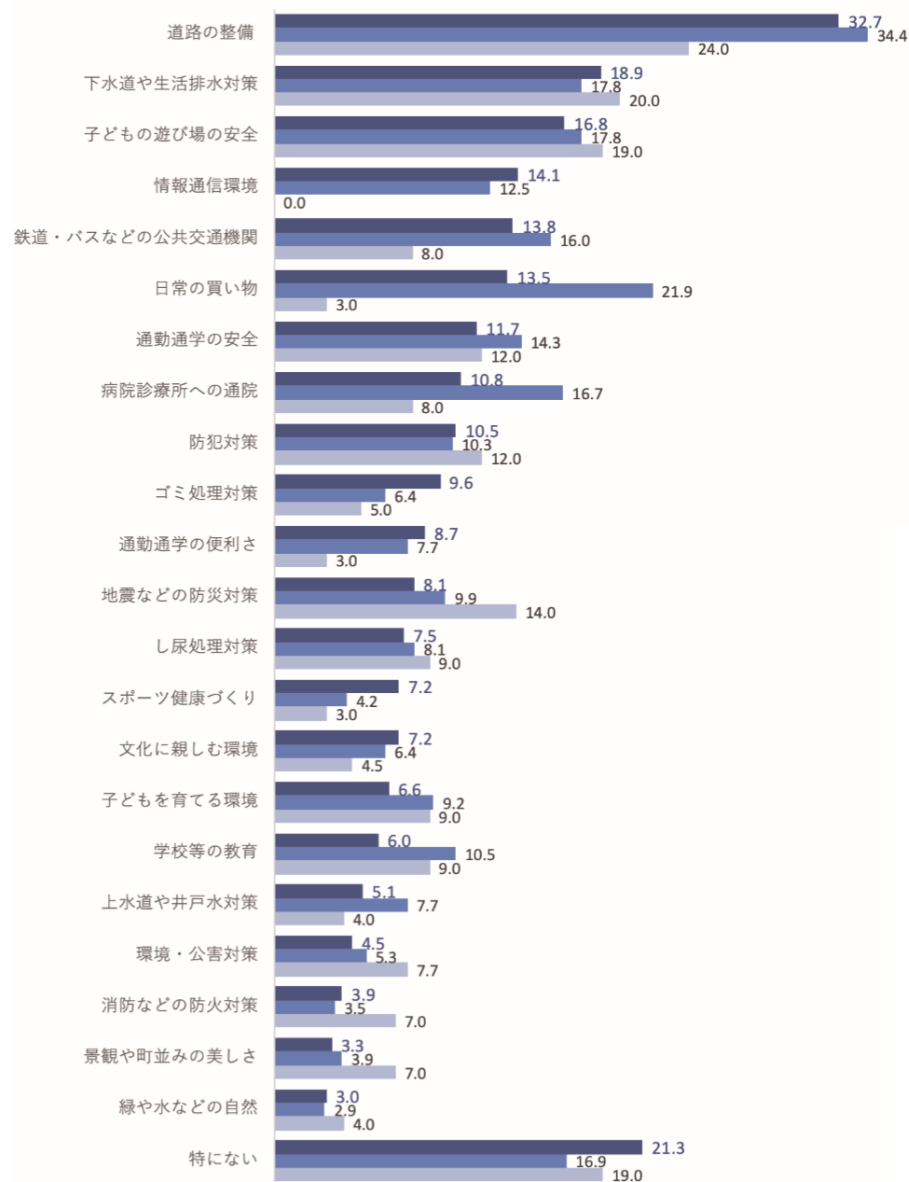
⇒ぐるぐるバスの運行開始、あったかふれあいセンターの支援など。

・「景観や町並みの美しさ」ポイントが5.2ポイント大きく上昇。

⇒歴まちの取り組みを継続している成果(上町周辺整備)

生活環境で不満があること

▶ 問6



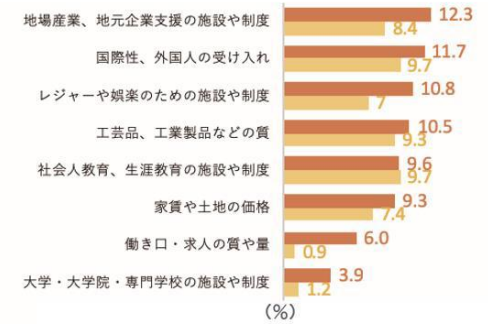
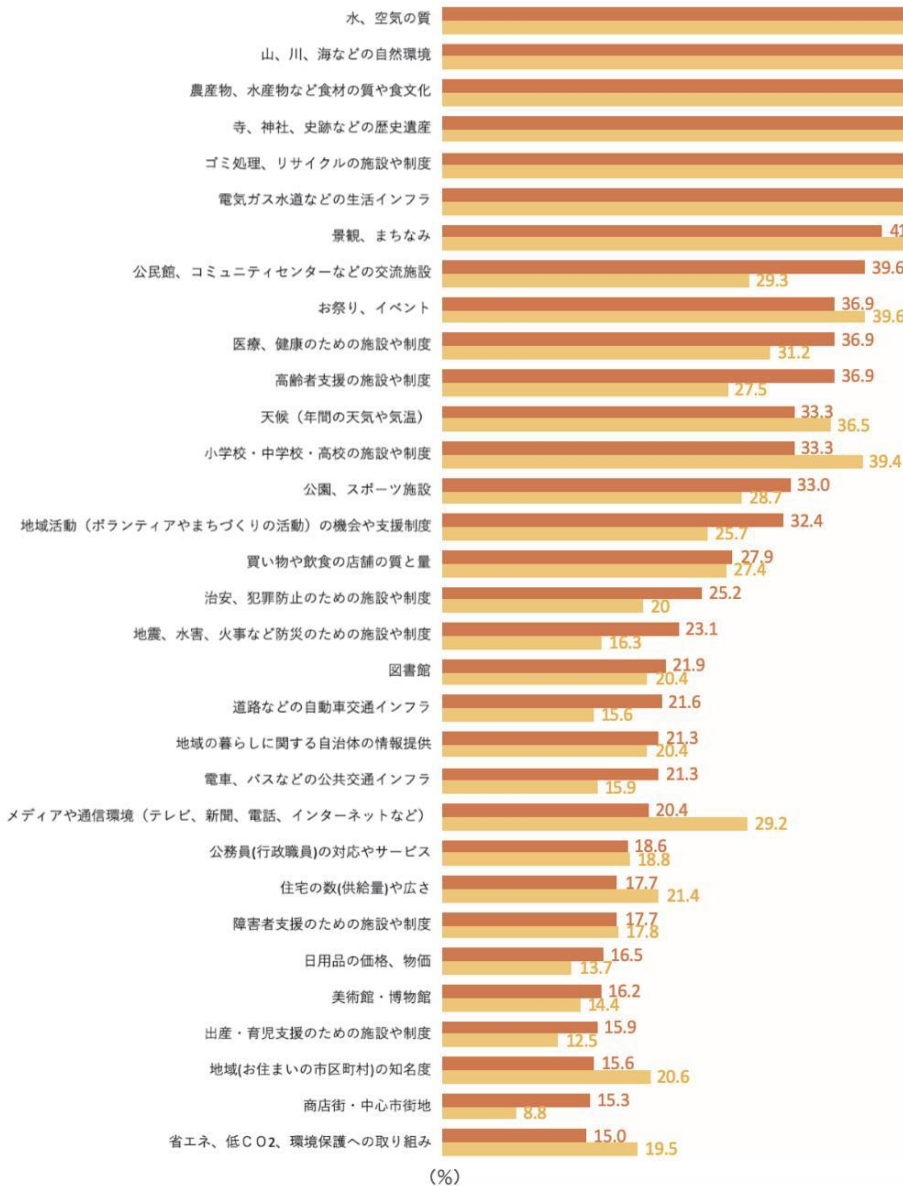
▼ 分析

- ・上位項目には変化がない結果となっている。
- ・「日常の買い物」ポイントが8.4ポイント減少。
⇒ 地域公共交通網(ぐるぐるバスなど)の整備
- ・「特にない」ポイントが4.4ポイント上昇。

(%)

佐川町のインフラ、環境、政策の充実度

▶ 問7、問8（「少し充実している」・「非常に充実している」のみを集計）



▼分析

・「公民館、コミュニティセンターなどの交流施設」の充実度ポイントが10.3ポイント上昇。

⇒集落活動センター、あったかふれあいセンターの整備。

・「医療、健康のための施設や制度」、「高齢者支援の施設や制度」のポイントがそれぞれ5.7、9.4ポイント上昇。

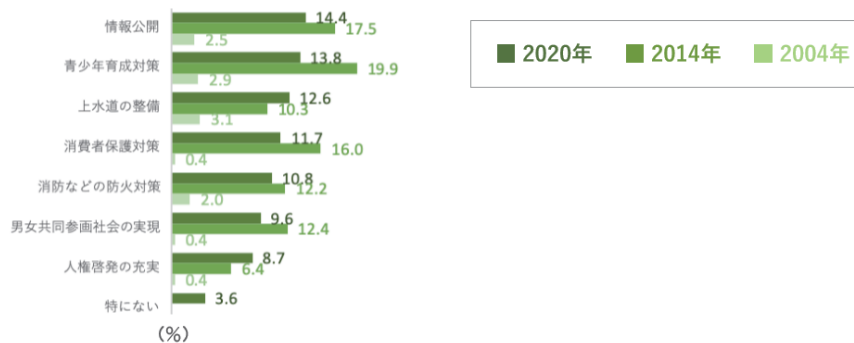
⇒介護施設、あったかふれあいセンターの整備、充実。

・地域活動（ボランティアやまちづくりの活動）の機会や支援制度のポイントが6.7ポイント上昇。

⇒集落活動センターの整備支援など。

町政全般を見渡し、今後5年特に力を入れるべきだと思うもの

▶ 問9



▼ 分析

上位項目の構成に変化はないものの、数値は下降気味の結果となっている。

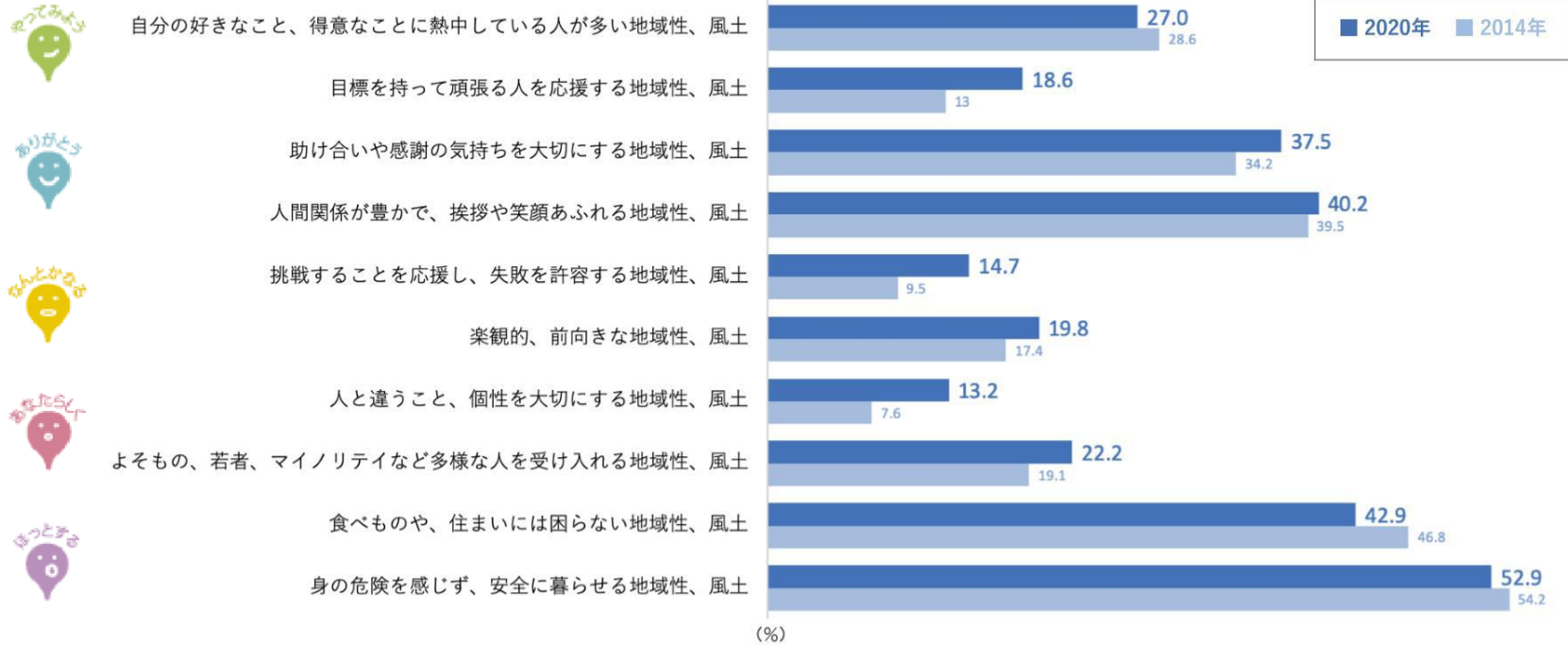
・「情報化社会への対応」ポイントが上昇。

⇒ 基盤整備(光通信網整備)が必要。

※ 来年中には、町内すべてのエリアで整備予定。

佐川町の地域性、風土について

▶ 問10 (「少しあてはまる」・「非常にあてはまる」のみを集計)



▼分析

「目標を持って頑張る人を応援する地域性、風土」スコアが5.6ポイント上昇。前回、全国平均と比較しても特に高かったスコアであるが、前回結果からさらに上昇したと思われる。

5年前と比較して上昇。

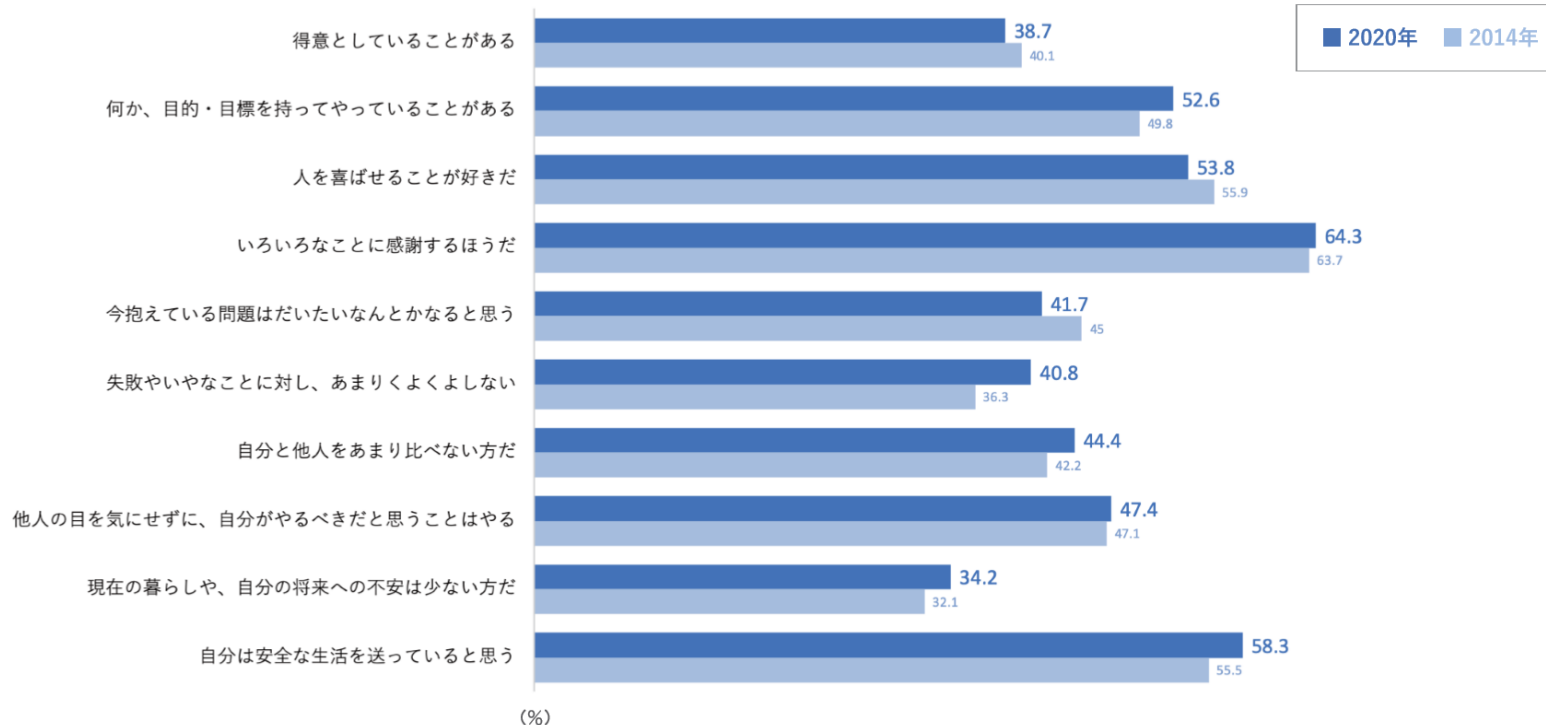
「挑戦することを応援し、失敗を許容する地域性、風土」スコアが5.2ポイント上昇。

5年前と比較して上昇。

前回、全国平均と比較しても特に高かったスコアであるが、前回結果から下降している。

佐川町民の幸福度_1

▶ 問11 (「少しあてはまる」・「非常にあてはまる」のみを集計)



▼分析



前回調査において全国平均と比較した場合、低かったスコアである。上昇している傾向も見られる。



大きな変化はない。



大きな変化はない。



大きな変化はない。

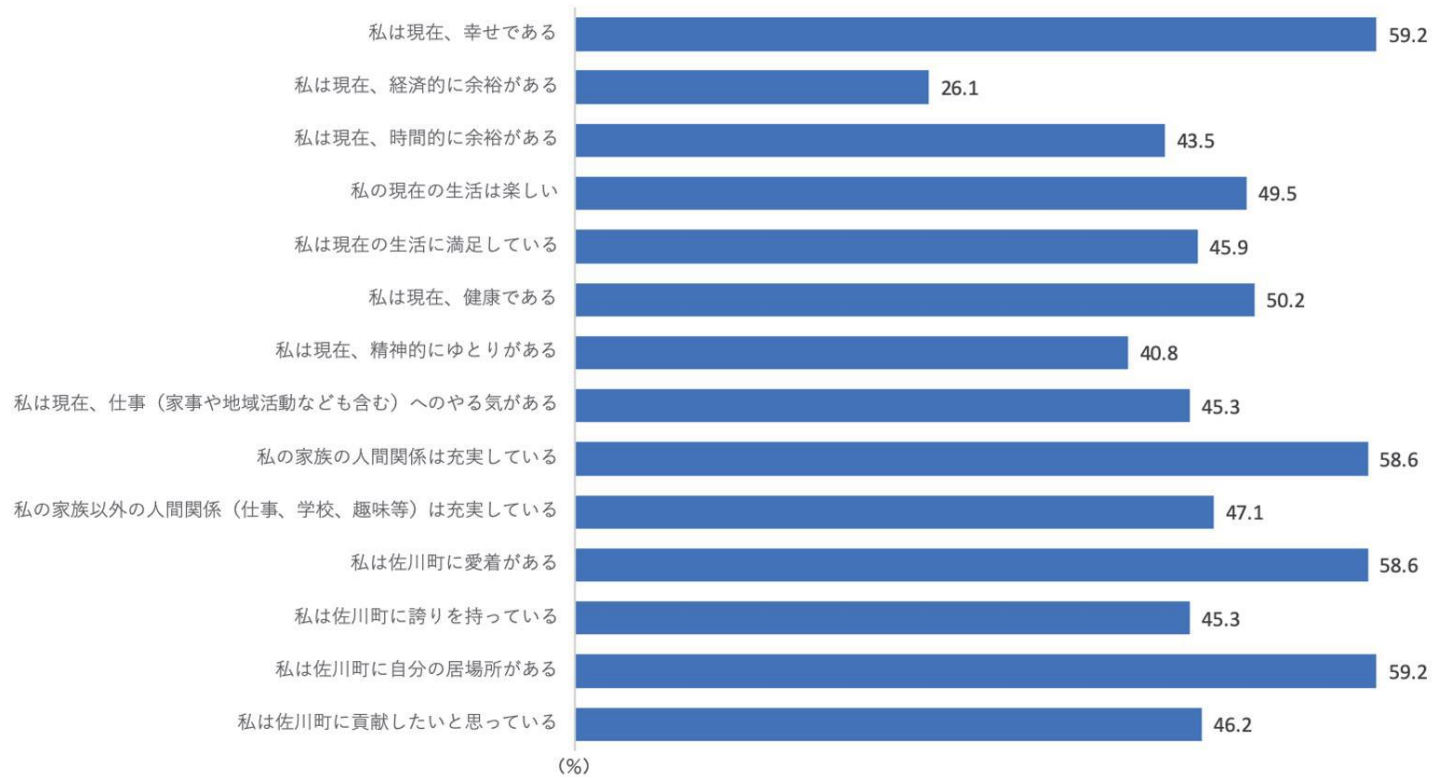


前回、全国平均と比較して際立って高かったスコアであるが、前回結果と比較しても大きな変化はない。

佐川町民の幸福度_2

▶ 問13 (「少しあてはまる」・「非常にあてはまる」のみを集計)

※過去データなし

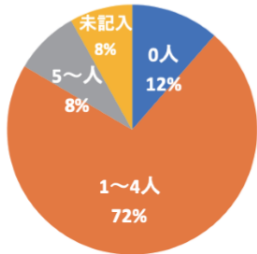


※前回調査結果と比較予定

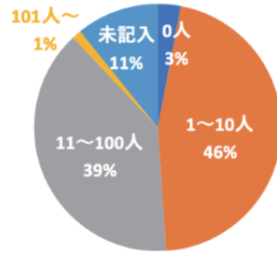
佐川町民について

▶ 問14

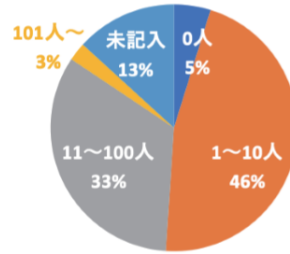
〈同居家族人数〉



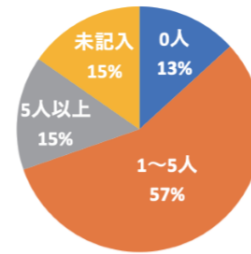
〈付き合いのある親戚人数〉



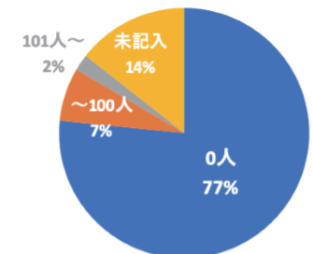
〈友人の数〉



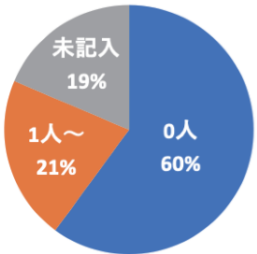
〈親友の数〉



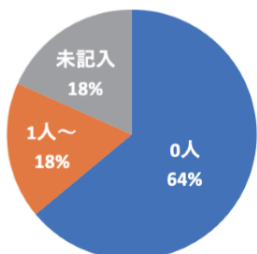
〈facebookの友人の数〉



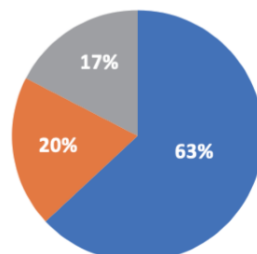
〈所属している芸術・教養・勉強のグループ、サークルの数〉



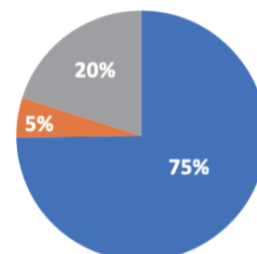
〈所属しているスポーツのグループ、サークルの数〉



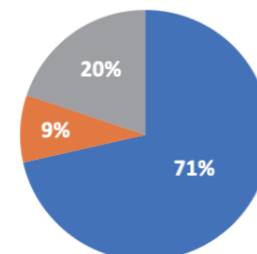
〈所属しているボランティアや地域活動、まちづくり活動のグループの数〉



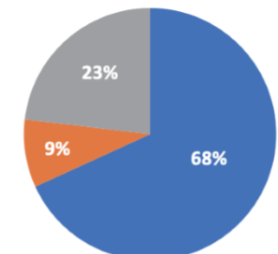
〈所属している政治団体の数〉



〈所属している宗教団体の数〉



〈所属している上記のいずれにもあてはまらない団体、グループの数〉



地域しあわせ風土調査

本調査は、日本全国15,000人を対象に行われた「地域しあわせ風土調査」と一部同じ質問を実施しています。

地域のしあわせ5指標

幸福研究の第一人者、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科である前野隆司教授の研究によると、人がしあわせを感じる要因は大きく次の4つで構成されます。「やってみよう(自己実現と成長)」、「ありがとう(つながりと感謝)」、「なんとかなる(前向きと楽観)」、「あなたらしく(独立とマイペース)」の4つです。人は成長や自己実現の機会に恵まれ、大切な人とのつながりを保ち、自分らしさを守りながら、前向き・楽観的な気持ちで行動できれば、しあわせな人生を送れるということです。

この4指標に、しあわせな生活のベースとなる、雇用・経済・防犯・防災などに関連する「ほっとする(安全と安心)」を加えた5つの指標を地域のしあわせ5指標と定義することにしました。



調査概要『地域しあわせ風土に関する調査』

調査目的: 慶應義塾大学大学院前野教授の幸福4因子をベースにしたオリジナル指標により、地域住民の幸福度を測り、その地域の住民の幸福度向上のための政策や地域ビジョンづくりに役立てるための示唆を得る

調査地域: 全国47都道府県

調査時期: 2014年2月28日～3月10日

調査方法: インターネット調査

調査対象者: 20歳から64歳までの男女、現在の地域に3年以上お住まいの社会人(単身赴任者と学業専門の学生は除く)

サンプル数: 15,000 各都道府県300サンプル(北海道のみ道東・道央・道南・道北各300)

男女各150名、20-34歳・35-49歳・50-64歳 各100名

地域しあわせ風土調査

しあわせを呼ぶ風 しあわせを育む土

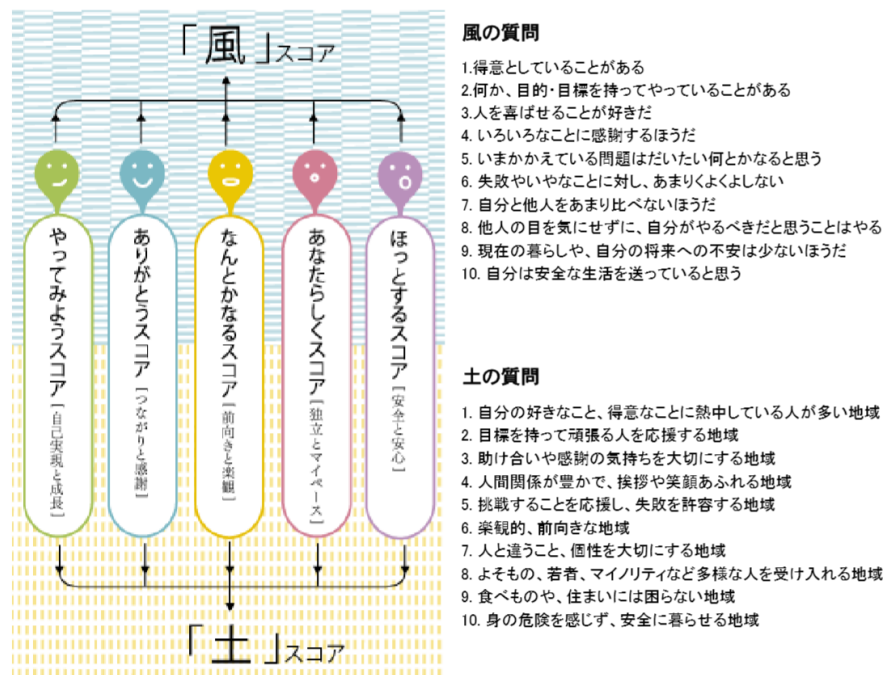
地域しあわせ風土調査では、地域の幸福度を2つの側面から調査しました。

1つはそこで暮らす個人が、やってみよう、ありがとう、なんとかなる、あなたらしく、ほっとする、この5つの気持ちを現在の程度感じているかという「風」の質問です。そういう気持ちの人が多ければ多いほど、地域には現在しあわせな気運が流れていることとなります。

もう1つは、その地域にこの気持ちを後押しする価値観や土壌がどの程度根ざしているかという「土」の質問です。地域には長年培われた地域独自の考え方や価値観が根づいています。やってみよう、ありがとう、なんとかなる、あなたらしく、ほっとする。この気持ちを住民に植えつける土壌がなければ、一時的な変化や景気の上昇、新規住民の増加などの風が吹いても、結局のところは定着しません。

この2つが揃って始めて、地域の中長期的なしあわせを実現することができると考えました。

風、土それぞれ5つの指標のスコアの合計を[風]スコアと、[土]スコアと、[風]と[土]の合計を「地域しあわせ風土」スコアと定義しました。



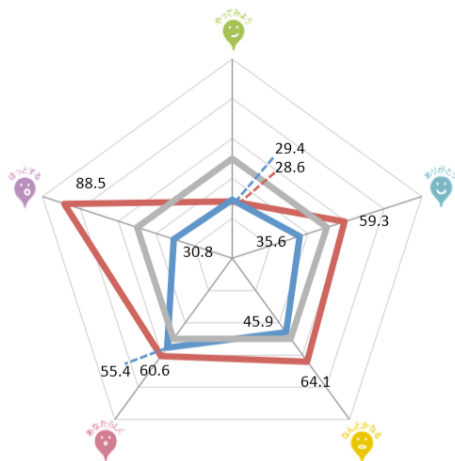
※上記質問の5段階評価(非常によく当てはまる、少し当てはまる、どちらともいえない、あまり当てはまらない、全く当てはまらない)のトップ2ボックス(非常によく当てはまる+少し当てはまる)の合計パーセントを全て足しあげて算出。

地域しあわせ風土 偏差値比較

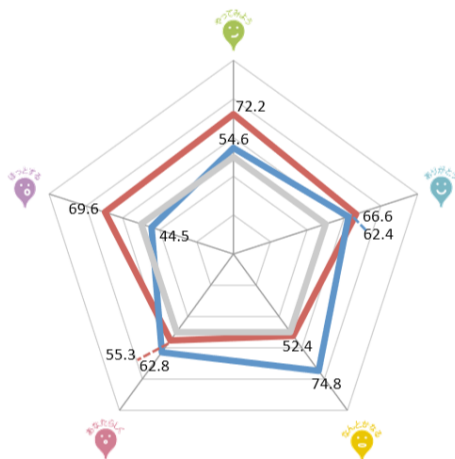
各都道府県別に、以下の項目をまとめました。

- ・しあわせ風土スコア、風スコア、土スコアとその順位
- ・風5指標、土5指標の47都道府県内での偏差値(50が47都道府県平均)
- ・地域のインフラや環境に関する以下40項目の充実度(5段階評価の「非常に充実している」と「少し充実している」の合計スコア)の上位・下位5項目(47都道府県ランキングで上位のもの、下位のもの)

風

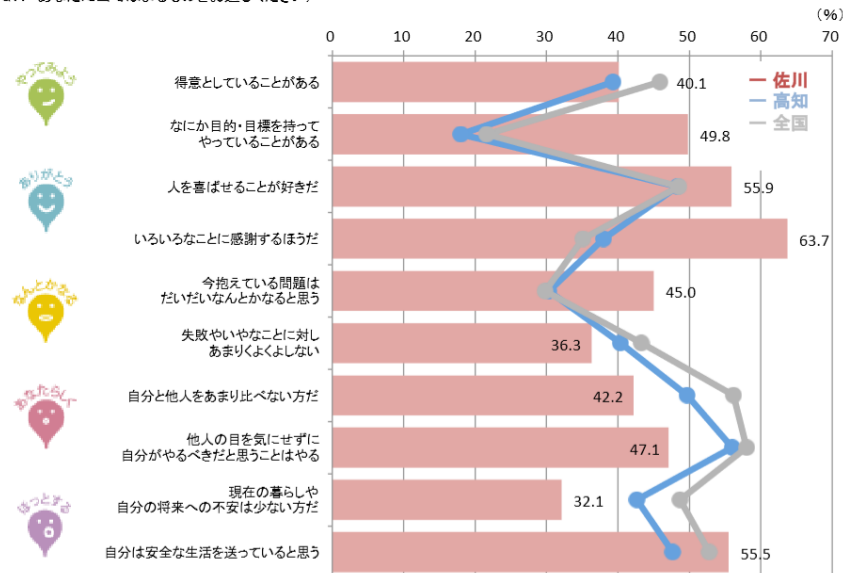


土



風の質問

(Q11 あなたに当てはまるものをお選びください)



土の質問

(Q10 佐川町の地域性・風土について当てはまるものをお選びください)

